

ロジスティクス環境会議
第5回省資源ロジスティクス推進委員会

2004年7月23日(金)14:00~17:00
芝パークホテル 本館3F 牡丹

次 第

1. 開 会

2. 議 事

1) 事例集のまとめ方について

2) その他

3. 第3回分科会

4. 閉 会

【配布資料】

資料1 : 事例集アンケート調査結果

資料2 : 事例集の編集方針

資料3 : 事例集の構成(案)

参考資料1 : 第4回委員会議事録

参考資料2 : 第2回分科会議事録

以 上

事例集の編集方針

1. 事例集の編集方針

- 1) 企業および複数企業間の省資源・省エネルギーの物流活動の事例を収集および整理のうえ公開し、関係者の活動を支援する。
- 2) 各事例の中から課題解決の方向性を示すポイントを整理し、ガイドラインや提言を作成する際に活用する。
- 3) その他

2. 事例集作成のステップ

- | | | |
|-------------------|---|---------|
| 1) 事例集の編集方針の検討と確認 | } | 1月～7月下旬 |
| 2) 分科会(WG)による整理 | | |
| 3) 事例の収集(アンケート等) | | |
| 4) 各事例の編集 | } | 9月上旬 |
| 5) 事例集の作成 | } | 10月上旬 |

3. 事例収集の枠組み

1) テーマ

- (1) 共同物流
 - 幹線輸送
 - 配送
 - 拠点
 - その他
- (2) モーダルシフト
- (3) 省資源活動(包装資材等削減、トラック・物流施設)
- (4) その他

2) 業種

- (1) 食品・流通
- (2) 機械器具・精密機器
- (3) 素材(化学・鉄鋼等)
- (4) その他

3) 範囲(領域)

- (1) 調達物流
- (2) 生産物流
- (3) 販売物流
- (4) その他

事例集の構成（案）

【目次構成】

- 1 . はじめに

- 2 . 概 要
 - 1) 枠組み（業種、事例のテーマ、範囲（領域））の説明
 - 2) 事例の調査対象、事例の収集方法、作成までの経緯

- 3 . 事例集
 - 1) 共同物流
 - (1)食品・流通
 - 同業他社との共同化
 - 異業種との共同化
 - 同一地区の共同化
 - (2)機械器具・精密機器
 - ・
 - ・
 - (3)素材（化学・鉄鋼等）
 - ・
 - ・
 - 2) モーダルシフト
 - (1)食品・流通
 - (2)機械器具・精密機器
 - (3)素材（化学・鉄鋼等）
 - 3) 包装資材等
 - (1)食品・流通
 - (2)機械器具・精密機器
 - (3)素材（化学・鉄鋼等）
 - 4) トラック・物流施設
 - (1)食品・流通
 - (2)機械器具・精密機器
 - (3)素材（化学・鉄鋼等）
 - 5) その他
 - (1)食品・流通
 - (2)機械器具・精密機器
 - (3)素材（化学・鉄鋼等）

実施に至らなかった例：内容別に整理してガイドライン、提言を作成するためのデータとして使用。

ロジスティクス環境会議

第 4 回省資源ロジスティクス推進委員会 議事録

. 日 時：2004年4月26日(月) 14:00～17:00

. 場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館3F 牡丹

. 出席者：38名

. 議 案：

- 1) 委員会・分科会の活動と分科会構成について
- 2) アンケート調査票について
- 3) その他

. 開 会

定刻、山本委員長により、開会が宣された。

. 省資源ロジスティクス推進委員会の活動概要について【資料1】

山本委員長より、資料1に基づき、第2回本会議(4/8)にて承認がなされた計画について、確認がなされた。

. 議事の経過

1. 議 事

山本委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 委員会・分科会の活動計画/2004年度上半期について【資料2-1】

事務局より、資料2-1に基づき、2004年度上半期の委員会・分科会の活動と分科会構成について説明が行われた後、全会一致にて承認された。

2) アンケート調査票について【資料3】

山本委員長より、資料3に基づき、事例収集のためのアンケート調査票について説明がなされた後、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

【委 員】事例集のアンケートを行うにあたっては、過去に検討したが実施できていないものや、実施しているが思うように進んでいない施策について、記載してもらった方が参考になるのではないか。分科会では、その部分を複数企業、異業種のメンバーで検討することが重要ではないか。

【委 員】具体的な施策を実施してなくて記載できないという企業であっても、取組んでみたい、または取組む予定の施策について、記載してもらった方が良いのではないか。

意見交換を踏まえ、上記のような点についても事例集に取り入れることが確認された。

以上をもって第4回委員会を中断し、各分科会に分かれて自己紹介を行い、調査票の確認を行った後、委員会ならびに分科会を以下のとおり開催することが確認された。

各分科会の検討内容等については別紙参照のこと。

3) スケジュールについて

以下のとおり、委員会ならびに各分科会を開催することが確認された。

(1) 委員会 当委員会全メンバー対象

第5回委員会・・・7月23日(金) 14 - 17時

第5回委員会に引続き、第3回分科会を開催

第6回委員会・・・9月24日(金) 15 - 17時

(2) 分科会 各分科会登録者対象

【食品・流通グループ】

第2回分科会・・・6月22日(火) 15 - 17時

第4回分科会・・・8月27日(金) 14 - 17時

【機械器具・精密機器グループ】

第2回分科会・・・6月14日(月) 14 - 17時

第4回分科会・・・8月23日(月) 14 - 17時

【素材グループ】

第2回分科会・・・6月22日(月) 10 - 12時

第4回分科会・・・8月25日(水) 14 - 17時

2. 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、山本委員長は閉会を宣した。

以 上

省資源ロジスティクス推進委員会

第 2 回 食品・流通分科会 議事録

・ 日 時：2004年6月22日(火) 15:00～17:00

・ 場 所：東京・港区 (社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

・ 出席者：17名

・ 内 容：

1. 各社の取組み事例について
2. 今後の進め方について

・ 開 会

定刻、魚住主査により、開会が宣された。

・ 議事の経過

1. 議 事

魚住主査より、本日は各社から提出されたアンケート調査票の内容について説明いただき、質疑応答等の意見交換していきたい旨の挨拶がなされた後、主査の司会進行のもと、以下のような発表がなされた。

1) 各社の取組み事例について(各社より発表)

(1) 味の素(株)(魚住氏)

- ・ 冷凍食品 北海道・中部・南九州地区 共同配送
- ・ 「31ft 鉄道用コンテナ」リース形式利用によるモーダルシフト
- ・ 首都圏ネットワーク変更による製品輸送経路の短縮

(2) 伊藤ハム物流(株)(長嶋氏)

- ・ 小売店配送センター向け同業他社による共同物流
- ・ 北海道麺類の関西・九州への配送(モーダルシフト)

(3) 川崎陸送(株)(上野氏)

- ・ 九州地区共同輸送
- ・ 鉄道利用による飲料輸送
- ・ 車両の大型化の推進(最大積載量 10t 車から増トン車やセミトレーラへの代替変更増車)
- ・ 排出ガス低減の為に CNG 車購入・DPF 触媒装置とりつけ

(4) キッコーマン(株)(横山氏)

- ・ 工場直送型物流システムの構築(共同物流)
- ・ 環境対策に基づく JR コンテナの活用
- ・ 法令遵守(コンプライアンス) 子会社、物流協力会社への要請
- ・ 自動倉庫建設によるフォークリフト稼働削減(荷役の効率化)

(5) 佐川急便(株)(須賀氏)

- ・ 特急コンテナ電車による東京・大阪間の鉄道利用実証実験

- (6) 大成建設(株) (松田氏)
 - ・ 医薬関連商品の共同物流、モーダルシフト
- (7) マクセルロジスティクス(株) (西田氏)
 - ・ 同業他社 4 社共同配送
 - ・ World Wide 鉄道輸送化によるCO₂削減
 - ・ パレットの Reuse 化
- (8) ユニ・チャーム(株) (井川氏)
 - ・ 原材料の共同センター運用と工場への共同輸送
 - ・ 異業種との共同化 (配送センターからの小口配送)
 - ・ 求貨求車システム利用 (トラック・物流施設の対策)

2 . 今後の進め方について

今回は、新たにアンケート調査票を提出された会社の方にまず説明いただく。

各社からあげられている実施に至らなかった点や課題について、議論を深めていく。

荷主企業間、荷主企業と物流企業間の課題やパレットの共同利用、ストレッチフィルムの廃棄問題等の社会システムとして取り組むべき課題など。

各種事例をご提出いただいている方についても、実施に至らなかった点も含め、上記のような課題を一例として、各社で認識されている課題を事務局に提出する。

既に問3等で記載いただいている方は、ご提出いただく必要はございません。

締切日：7月9日(金)

3 . 閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、魚住主査は閉会を宣した。

以 上

省資源ロジスティクス推進委員会

第 2 回 素材分科会 議事録

・ 日 時：2004年6月22日(火) 10:00～12:00

・ 場 所：東京・港区 (社)日本ロジスティクスシステム協会 会議室

・ 出席者：6名

(株)日通総合研究所 山本 明弘 物流技術環境部環境グループ 担当部長
三菱化学物流(株) 野田 文夫 常務取締役安全 QA 環境部グループ リーダー
豊田スチールセンター(株) 加藤 信裕 第2 業務部物流企画グループ 係長
新日本製鐵(株) 河野 義信 営業総括部マネージャー
(社)日本ロジスティクスシステム協会 佐藤修司、遠藤直也

・ 内 容：

1. 各社の取組み事例について
2. 今後の進め方について

・ 開 会

定刻、山本主査により、開会が宣された。

・ 議事の経過

1. 議 事

山本主査より、本日は各社から提出されたアンケート調査票の内容について説明いただき、質疑応答等の意見交換していきたい旨の挨拶がなされた後、主査の司会進行のもと、以下のような発表がなされた。

1) 各社の取組み事例について(各社より発表)

(1) 新日本製鐵(株)(河野氏)

- ・ 原料輸送の共同配船化
- ・ 姫路 京阪神向け鉄鋼製品のコンテナによる海送化

(2) 豊田スチールセンター(株)(加藤氏)

- ・ コンテナ物流の積荷固定などで使用される緩衝木材の廃止
- ・ スチールパレット化によるリターン、リユース化
- ・ トラック・物流施設の対策事例の紹介

(適正使用車両の整理、積載率のUP、車両回転率のUP)

(3) 三菱化学物流(株)(野田氏)

- ・ 化学製品(微粉体)共同輸送
- ・ モーダルシフトによるコスト削減
- ・ JR コンテナ化
- ・ 宮崎地区樹脂輸送のモーダルシフト
- ・ 主・副包材経費削減
- ・ 省エネルギー運転の推進による燃費向上

- ・事務所電力消費量の削減
- ・トラックの燃費消費量の削減
- ・車輛の大型化の推進
- ・所有台数の見直しによる台数削減
- ・デポ配送（スルー型輸送）

2．今後の進め方について

- 1) 事例報告に止まらず、実行に向けての規制事項・課題等についても整理し、関係省庁等へ改善に向けての提言を行う 次回(7/23)迄に各MPAにて整理する。
- 2) JR貨物等、モーダルシフトに関わる会社の方をお招きし、現況・課題・対策等について議論する場を設けることも検討する。

3．閉 会

以上をもって全ての議事を終了し、山本主査は閉会を宣した。

以 上